

活動基本方針と年間事業計画

I. 役員体制

・理事の今年度確認

今年度(令和6年度:2024年度)は改選の年には当たらないため理事会にて現理事の継続の意向を確認したところ、現理事12名全員が継続の意向を示したので報告する。

現理事12名は 竹下修史、森脇勉、日高正昭、坂口光正、坪倉定、小林喜美代、井藤學、岡本力夫、甲村孝昭、森杉 和司、林勝文、大川昇。

II. 令和6年度運営方針骨子について

・竹林整備事業

- ① 既存竹林の整備・・・現在整備中の石清水竹林、安田竹林、円福寺竹林、島田竹林、小谷竹林、内里竹林、展望台竹林の7竹林に勢力を注ぐ。本妙寺竹林は必要に応じて年1～2回の整備に留める。
- ② 新規竹林・・・要請があれば有償にて対応し環境保全に役立つ内容とする(整備・粉碎等で短期間終了のもの)
- ③ 林野庁への新規申請・・・令和6年度の新規申請は見合わせる。円福寺竹林では林野庁に令和元年に申請した竹林の皆伐整備がまだ中途であるため、昨年度に続き円福寺竹林整備を月2回実施し、竹の粉碎を竹林整備日並びにその間に2～3日行う。令和6年度で皆伐を終了する。

・同好会活動

- ① 竹細工同好会・・・従来の竹細工サークル、燻竹サークル、竹籠サークル、竹紙サークル等をさらに充実させ竹の有効活用を図る。
 - ・竹紙サークルについてはその設備を充実させる。
 - ・燻竹サークルは必要に応じて設備の改良を行ってより良い燻竹作製を検討する。
 - また同時進行的に竹炭作製体制を整え順次竹炭の質を向上させる。
- ② その他の活動・・・毎週木曜日を自主活動日と定め、展望の館にて竹細工作製等を自由に楽しむ日を設ける。また、たけくらぶ専用商品作製者の底辺を広げ、多くの会員に専用商品作製技術を習得してもらう。

・活動資金の調達

- ① 竹細工教室、イベント活動等で活動資金の一部を補完する。
- ② 竹林整備受注、粉碎作業受注、その他の収入源を検討する。
- ③ 森林づくり基金活用事業継続
円福寺竹林整備は森林を保存するための侵入竹の皆伐であり、森林づくりモデルフォレスト運動に合致するので、昨年度に引き続き京都府森林づくり基金活用事業に申請する。
- ④ 京都府地域交響プロジェクト交付金事業継続
地域住民の参画により伐採した竹の有効利用を図り、地域活性化を促進するため、本プロジェクト交付金を申請する。

・その他

- ① 安全管理、交流活動(イベント活動)、広報活動は従来通り
- ② 里山再生協議会事業に参画し、年2回の男山散策路整備に協力する。
- ③ 自然環境保全の為の活動として紙袋使用の継続、竹チップからの抽出物の研究支援

Ⅲ. 展望の館/庭園の活用

- ① 竹細工体験教室の拡大(従来の教室に加え竹紙作製 竹灯り作製他)
- ② 令和5年度に続き更なる庭園整備の充実 ・四季折々の草花の維持管理
- ③ 八幡市が掲げる歴史的資源を活用した文化観光まちづくり未来戦略男山展望台に創る「新・空中茶室」等については市と連携を図りたけらぶの意見を重ねて進行させる。